

秋の深まりとともに…

9月の下旬。咲き誇った美しいヒガンバナ。



歩道橋のところの植
え込みに咲く
ヒガンバナ

10月になると、しぼんでしまいました。でも、校内では…。



秋の七草の一つ
ハギが咲いていまし
た。

このハギは、宮城野萩という品種で、とても大きな株になります。

ハギを植えていた場所からは随分と間隔を開けていたのですが、キキョウなど完全に隠れてしまいました。

でも、10月半ばを過ぎて、ハギの花は終わりつつあります。

代わりに…。



これも、秋の七草
ススキです。

ホソススキという品種で、普通のススキより穂が出るのが遅いようです。
秋風に穂が揺れています。



これも、秋の七草の
一つ、フジバカマが
咲き始めています。

フジバカマにはクマリンという物質が含まれていて、とてもいい匂いがします。
京都のある小学校では、校内に植えたフジバカマの花にアサギマダラという蝶がやってきて、蜜を吸っていたとありました。
アサギマダラは渡りをする大型の蝶で、フジバカマの花によくやってくるのだそうです。
本田小学校でも見られないか楽しみにしています。



学校前の通りのイチョウ並木の葉が色づいています。

よく見ると、葉の根元の方から黄色くなっていくのがわかります。



給食室前のカキノキの実が熟しています。



カキノキの実は野鳥たちの貴重な食料になります。



これはカリンの実です。

熟すといい匂いがします。カリンの実を漬け込んだ蜂蜜は咳止めとして古くから用いられてきました。もちろん、美味しいものです。



気がつけばソメイヨシノの葉の色も秋を感じさせます。

菊のつぼみもふくらんできたし、すっかり秋！

もう、紅葉のシーズンかあ…。